

あおぞら

行方市 社協だより

No. 77 2025.6.1

— 発行者 —
 社会福祉法人
 行方市社会福祉協議会
 住所 茨城県行方市玉造甲478 番地1
 ☎ 0299 (36) 2020
 FAX 0299 (55) 4545
 URL <http://www.yokattanet.jp>

地域の善意がつながる支え合い

旧太田小学校区「ひとり一品運動」で集まった食品を、52世帯に配布

3月9日、旧太田小学校区の第2層協議体（区長、区長代理、民生委員、フードバンクなめがた）主催で「ひとり一品運動」が行われ、地域の皆さまから食品・日用品が寄せられました。



「ひとり一品運動」には地域住民が多く参加しました（太田地区館にて）

みんなの思い
228kg!



集まった寄付品は、3月15日に「なめがたフードパントリー」で活用され、物価高騰の影響を受ける市内52世帯に配布されました。地域の皆さまの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

配布当日の様子（なめがたフードパントリー会場にて）

52世帯へ!



もくじ

- 会長あいさつ…………… 2
- いきいき長寿者紹介…………… 3
- 令和7年度社協の事業計画/のびのびサポート/介護者のつどい… 4
- 令和7年度社協の予算…………… 5
- 活動報告等…………… 6
- ボランティアセンターからのお知らせ… 7
- 善意銀行/社協会員加入のお願い
つばやき/災害時緊急助成…………… 8

会長 あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会
会長 鈴木 周也

初夏の陽気が心地よく、田畑の緑もいっそう色濃く感じられる季節となりました。日頃より、行方市社会福祉協議会の活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化や人口減少、地域のつながりの希薄化などにより、暮らしのなかの福祉課題がますます複雑化・多様化しています。こうした状況を踏まえ、私たちは「誰もがみんなふれあい支えあい助け合うまちなめがた」の実現を目指し、地域に根ざした福祉活動を一層推進してまいります。

令和7年度は、第3期地域福祉活動計画の4年

目にあたり、「地域の支え合い・助け合いづくり」「包括的な支援体制づくり」「安全・安心な地域づくり」の3つの基本目標を掲げ、地域の暮らしに根ざした幅広い福祉活動を展開しています。高齢者の方や障がいのある方、子育て世帯の皆さまなど、それぞれの立場に応じた支援の充実を図るとともに、介護保険・障害福祉の事業所サービスも含めて、誰もが自分らしく暮らせる地域づくりを進めていきます。

また、ボランティア活動の推進や福祉教育の実施、広報紙「あおぞら」やSNSなどによる情報発信にも力を入れており、地域福祉をより身近に感じていただけるよう取り組んでいます。加えて、法律・生活相談の体制充実や、生活困窮者支援など、困りごとに寄り添う窓口としての役割も果たしていきます。

地域福祉は、すべての人の安心と参加によって育まれるものです。今後も「誰一人取り残さない」まちづくりに向けて、皆さまと共に歩んでまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

いきいき長寿者紹介



石神俊男さん
(行方市麻生 94歳)

今回ご紹介するのは、生まれも育ちも麻生の石神俊男（いしがみとしお）さんです。

【幼少期と戦時下の勤労奉仕】

石神さんは戦時中、学ぶ暇もないほど勤労奉仕に明け暮れました。特に松ヤニ採取の作業に従事し、子どもの身で重労働を経験。また、家業の農作業ではタバコ栽培にも携わり、畑の世話や乾燥作業を手伝うなど、自然と共に汗を流しました。厳しい環境下で家族と地域を支え合う姿勢が、後の誠実さと我慢強さを育みました。

【裁判所のロタケ】

昭和23年、中学卒業後すぐに裁

判所書記官として入局。初任給は800円という時代でしたが、4年にわたり堅実に職務を全うしました。細かな記録や法廷運営に心血を注ぎ、同僚から深い信頼を集める一方で、仕事が終わったら蕎麦屋さんで一献、その後は潮来方面へのはしご酒で仲間との交流を楽しみ、厳しい業務の合間に温かな絆を築かれました。

【伝統文化と芸術への研鑽】

当時、地域で盛んに歌われていた民謡に魅せられた石神さんは、「筑後酒造り唄」をはじめとする伝統歌を約30年間にわたり歌い続けました。自己流で済ませること



平成2年 日本武道館にて

を良しとせず、必ず師匠のもとで学ぶ姿勢を貫いた結果、その深い情感を余すところなく表現できるようになりました。

一方、書道にも同じ志で取り組み、公民館の教室で定期的に筆を運び、長年の修練を経て指導者としての資格を取得しています。さらに近年は彩玉ボードを用いた彫刻制作にも力を注ぎ、月に数回、公民館の彫刻室で作品を手がけています。これらの作品は、いばらきねりん文化祭やわくわく美術展などで継続的に発表され、音楽と書・刻という異なる表現を通じて地域文化の多様性を体現し続けています。



作品：飛翔

【グラウンドゴルフの先駆者として】

グラウンドゴルフが生まれて間もない頃、石神さんは仲間とともに

に競技を始めました。ルールや道具が整わない中、公民館や空き地で試行錯誤を重ね、やがて天王崎公園が観光地でありながら練習場として利用できるよう粘り強く交渉。地域スポーツとしての普及に大きく貢献し、現在では大会も開催されるほどの盛況を見せています。

【未来につながる響き】

石神さんの人生は、戦時下の勤労奉仕から裁判所での奮闘、伝統文化の継承、スポーツの先駆、芸術表現まで、多彩な経験が今も静かに胸に響きます。

「自分らしく生きるとは何か」という問いは、94年に刻まれたその歩み自体が示してくれます。石神さんの足跡は、私たちに新たな視点と温かな希望を届け、地域の誇りとして輝き続けています。



裁判所での永年勤続による表彰状

紙面でご紹介させていただける長寿者の方を募集しています。自薦、他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。

☎0299 (36) 2020 総務企画係

令和7年度 行方市社会福祉協議会事業計画 —— 子どもも介護者も、地域みんなで支え合う ——

行方市社会福祉協議会は、「誰もがみんな ふれあい 支えあい 助け合うまち なめがた」の実現に向けて、地域の支え合い・包括的な支援体制・安全安心な環境づくりを3本柱に、幅広い事業を展開しています。令和7年度は「行方市第3期地域福祉活動計画」（4年次目）を踏まえ、子育て・障害・介護・災害対応など多岐にわたる生活課題の解決を、市民・行政・企業が一体となって地域福祉事業を推進していきます。

今年度の事業計画には、高齢者の見守り・フードパントリー・ボランティア養成講座など、延べ50を超える取り組みが並びます。その中でも、世代を超えて「いま支援が必要な人」を直接支える二つの事業を紹介します。

本ページでは、「子ども」と「介護者」——二つのライフステージで直面する“孤立しやすい課題”に光を当て、社協ならではの支援策とご参加方法をご案内します。

<のびのびサポート>

～夏休みの思い出作りを、みんなでサポートします！～

7月下旬から8月の夏休み期間、市内在住の特別支援学校に通う児童・生徒、市内の特別支援学級を利用する児童、生徒を対象に行っている事業です。児童・生徒の長期休暇中、保護者のストレス・育児負担の軽減を目的としております。夏休みの楽しい思い出になるよう目指しております。

実施期間	7月下旬～8月〈全10日間〉
時 間	午前9時00分～午後4時00分
定 員	各日10名（申込時に希望日を選択）
会 場	行方市地域包括支援センター
参 加 費	1,000円（1日あたり）
主なプログラム	ミニ夏祭り／クッキング／遠足（福祉バス利用）



○申し込み・お問い合わせ：行方市社会福祉協議会 ☎ 0299-36-2020

<介護者のつどい>

～介護の体験などみんなでお話ししませんか？～

ご家庭で介護をされている方や介護の経験がある方が集まり、自由に話していただく語らいの場を開催しています。実際に介護をした体験などをみんなで共有し、情報交換をしませんか。介護に関する相談も受け付けています。介護経験のある方・これから備えたい方・どなたでも自由参加ですので、ぜひご参加ください！

開 催 日	6/2・7/7・8/4・9/1〈いずれも月曜〉
時 間	午後1時30分～3時00分 出入り自由
会 場	行方市地域包括支援センター
参 加 費	無料
内 容	介護体験の共有・情報交換・個別相談



○申し込み・お問い合わせ：行方市地域包括支援センター ☎ 0299-55-0114

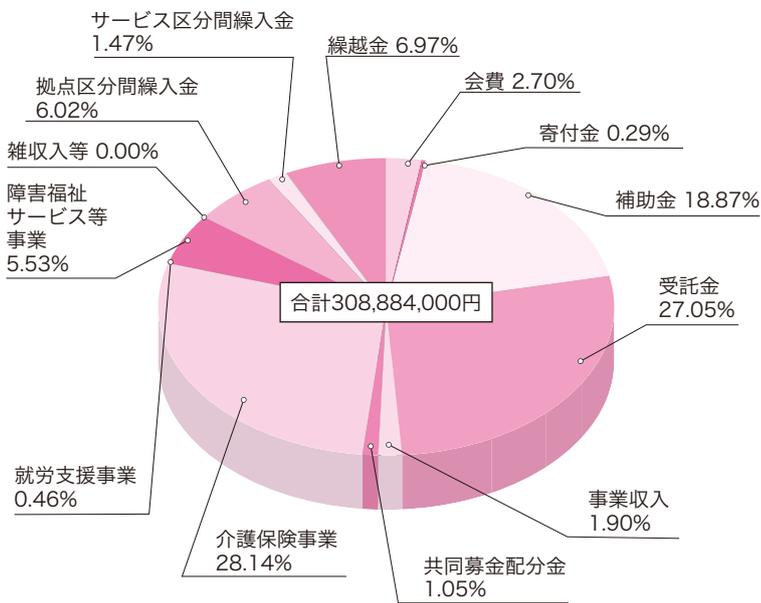


令和7年度 社会福祉法人 行方市社会福祉協議会予算

社会福祉協議会（社協）の財源は、地域の皆様や企業からの会費及び寄付金、共同募金配分金、行政等からの補助金・受託金、そして高齢者や障害者の方への福祉サービス等により編成されております。これらを原資として「誰もがみんな ふれあい 支えあい 助け合うまち なめがた」を目指して様々な地域福祉活動を展開していきます。

予算総額 308,884,000円

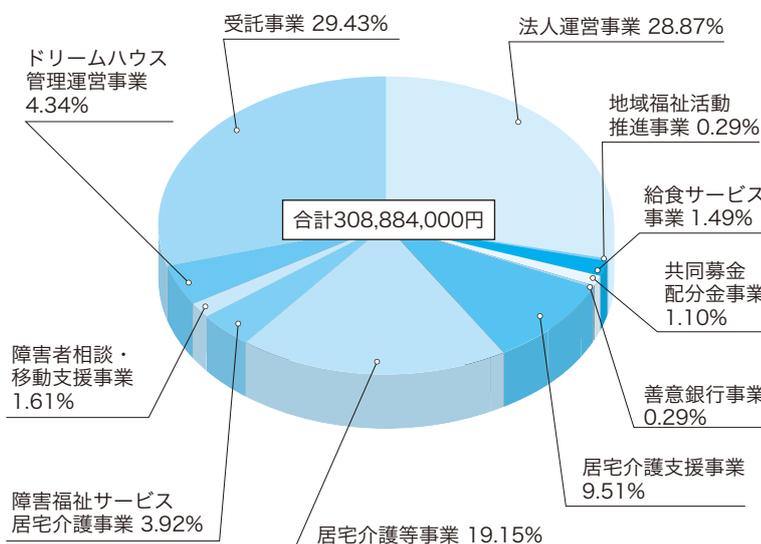
収入



(単位：千円)

会費	8,330
寄付金	891
補助金	58,298
受託金	83,553
事業収入	5,881
共同募金配分金	3,234
介護保険事業	86,913
障害福祉サービス等事業	17,080
雑収入等	12
拠点区分間繰入金	18,606
サービス区分間繰入金	4,546
繰越金	21,540
合計	308,884

支出



(単位：千円)

法人運営事業	89,188
地域福祉活動推進事業	896
給食サービス事業	4,602
共同募金配分金事業	3,407
善意銀行事業	892
居宅介護支援事業	29,367
居宅介護等事業	59,141
障害福祉サービス居宅介護事業	12,107
障害者相談・移動支援事業	4,977
ドリームハウス管理運営事業	13,397
受託事業	90,910
合計	308,884

活動報告

行方市介護支援専門員連絡協議会 自立を支える、ケアのプロ集団！

介護支援専門員（ケアマネジャー）は、介護を必要とする方ができる限り自立した生活を送ることができるように、適切なサービスを受けるためのサポートをしています。令和6年度は60名弱の仲間が定期的に集まり、お互いを高めあうために勉強会などを開催しました。

今後も地域の高齢者の皆さんの生活のお手伝いができるよう、頑張っていきます！



行方市いきいきクラブ連合会女性会員研修会 「押し花アート体験」開催！！

2月13日（木）、押し花作家の綿引啓子様を講師にお迎えし、「押し花アート体験」を開催いたしました。当日は、美しい押し花を使って、ハガキやカレンダーの作品づくりを取り組み、自然の色彩を生かしたアートの魅力を味わいながら制作を楽しんでいました。女性委員会では、今後も女性会員の皆様が気軽にご参加いただける企画を展開してまいります。もし、当クラブにご興味のある方は、60歳からご加入できます。社協にお問い合わせください。

行方市ボランティア連絡協議会会員交流研修 つながる力、広がる未来へ！

2月18日（火）、市内3地区から66名が参加して会員交流研修を実施。建設技術展示館で最新の防災・建設技術を学び、割烹しの田の海鮮ランチで親睦を深めた後、道の駅しょうなんで地域資源を視察しました。移動の車中でも活発な情報交換が続き、参加者からは「仲間の工夫を持ち帰り、地域で実践したい」と前向きな声が多数。本研修は、ボランティア同士の連携強化へ向けた大きな一歩となりました。



小曾納知一さん・利根川英之さん
日高結香さん

第74回 茨城県社会福祉大会開催 称え合い、広がる福祉の輪！

2月20日（木）、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールにおいて第74回茨城県社会福祉大会が開催されました。この大会は地域における福祉の向上と、社会福祉活動に尽力する方々の功績を称えることを目的として毎年開催されているものです。今大会、行方市から社会福祉に携わる方の中から5名の方が表彰を受けました。表彰者の方のこれまでの功労への敬意と感謝を表すとともに、ますますのご活躍を祈念いたします。

茨城県社会福祉協議会会長表彰

【社会福祉施設職員】

表彰者（順不同）

○児童養護施設るんびに一

お そのう ともかず
小曾納 知一さん

とねがわ ひでゆき
利根川 英之さん

くりやま ぜん う えもん
栗山 善右工門さん

○玉造第二保育園

たかはし たえこ
高橋 妙子さん

○玉造第三保育園

ひだか ゆか
日高 結香さん

ボランティア募集中！

高齢者支援 ボランティア

～活動内容～

- ・高齢者の見守りやお話し相手など
 - ・お弁当の調理や配達
- ～活動日時～
- ・平日午前または午後（月1回～）

送迎 ボランティア

～活動内容～

- ・高齢者や障害者の病院・施設等への送迎など
- ～活動日時～
- ・平日午前または午後（月1回～）
- ～お礼～
- ・1時間700円+30分ごとに300円加算



ボランティアサークル紹介

子育て支援

更生保護女性会

～活動内容～

私たちは更生保護女性会の一端として子育て保育のお手伝いをしています。麻生支部・玉造支部・北浦支部の会員さん方と協力し合って、行方市こども課からの計画書に基づき活動しているグループです。尚年々会員さんが減少しておりますのでぜひ、入会してくださることを願っております。

～活動場所～

行方市保健センター（旧北浦保健センター）

～活動日～

令和7年6月12日・22日 10月26日 11月25日 12月18日
令和8年1月6日 2月15日 3月17日



踊りの慰問 錦照会（きんしょうかい）



～活動内容～

慰問等、新日本舞踊、よさこい、体操やお遊び、踊りを通じて着物文化所作、心のコミュニケーション、気軽に楽しんで貰えるように活動しております。二十歳の集いの見守りもさせて頂いております。お仲間募集中です。

～活動場所～

北浦公民館 玉造公民館 麻生公民館
繁昌地区学習センター 北浦小学校体育館

～活動日～

月2～5回ほど

お弁当配食

チームエール



～活動内容～

みなさんにエールを送りたいボランティア団体です。食育栄養コンサルタント、食育実践プランナー、野菜スペシャリスト、ジュニア野菜ソムリエなどの資格を持つメンバーが活躍しています。

～活動場所～

麻生公民館

～活動日～

4月・7月・12月（年3回予定）

ボランティアに関するお問い合わせ・お申込みは、こちらまでお気軽にどうぞ！

【行方市社会福祉協議会 ボランティアセンター】

住所：行方市玉造甲 478 番地 1 ☎：0299-36-2020

行方市善意銀行

令和7年2月4日から令和7年5月14日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金(順不同・敬称略)

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
中野秀昭	20,000	無指定
小沼行夫	20,000	無指定
匿名	20,000	無指定
玉造陶芸愛好会	10,000	無指定
島並新生会 会長 仲野隆志	107,543	福祉一般
		

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
行方 S.K	さつまいも コンテナ 4箱	無指定

災害時緊急助成

災害が発生し家屋が被災した場合、見舞金の支援をおこなっています。(災害救助法が適用される場合を除きます。)市役所だけでなく社協にも申請をお願いします。

○対象：家屋の焼失・流失・倒壊等の災害が発生し、罹災証明書が発行された世帯。

全焼(全壊)	30,000円
半焼(半壊)	20,000円
床上浸水等	10,000円

お問い合わせ先

茨城県共同募金会 行方市共同募金委員会
社会福祉法人行方市社会福祉協議会内
☎0299-36-2020

社協会員加入のお願い

地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざした様々な活動を行っています。

皆さまから寄せられた会費は地域福祉事業を行ううえで大切な自主財源となっています。ぜひご協力をお願いいたします。

◎ 会員の種類 ◎

・ **一般会員**：一口 1,000円

(各世帯の皆さまにお願いしています。)

・ **賛助会員**：一口 3,000円

(活動にご賛同いただける方のご協力をお願いします。)

◎令和7年度会費募集期間◎

6月2日～6月30日



社協の給食サービス事業で使用した絵手紙です。

作：絵手紙ボランティア
高須清子さん

つぶやき

色とりどりの花が咲き乱れる季節になりました。わが家では小さなプランターにビオラが咲き誇っています。

蒔き時が遅れたので苗がなかなか育たず、物になるかどうか心配でしたが、「大きくな～れ、大きくな～れ」と愛情たっぷりの注水をしていたら、3月末頃には小さな体に可愛い花を咲かせました。

「寒さに耐えよく頑張った！」と感動しました。今その花を摘み押し花を作っています。フラダンスをモチーフにしたコラージュの制作をするためです。

コラージュとはフランス語で「糊付け」を意味し、写真の切り抜きや押し花などを組み合わせて一つの作品にするものです。

初心者なので手取り足取り指導を受け、ハラハラ、ドキドキ、ワクワクしながら作業しています。これが私の新たなチャレンジです。

加藤たか子

広報委員

委員長	横田 照実	委員	磯山 正子
副委員長	宮内 和子		加藤 たか子
委員	金井 裕子		松澤 久美子
	理崎 道子		田野中裕美子
	大原 孝		榊原 由浩